

未来へアクセス



株主の皆様へ

# 第66期報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

## 中期経営計画『NEXT FIELD 2017』達成

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社では平成27年の創業80周年を機に、当社を新たな成長のステージへ導くため、平成29年度を最終年度とする3か年の中期経営計画を策定いたしました。2年目にあたる当期(第66期)の業績について、株主の皆様へご報告申し上げます。



Q

第66期の事業環境および業績はいかがでしたか。

A 当連結会計年度における我が国経済は、海外景気の減速や為替変動などに加え、熊本地震による生産の一時停滞など、年度前半では不安定な状況がみられましたが、後半に入り一部に弱さが残るものの、海外景気の緩やかな回復による輸出の増加などを受けて生産は増加基調にあり、持ち直しの動きがみられる状況となりました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界においては、既存設備の維持・更新需要に加え、生産人員の不足

に対処するための自動化・省力化投資が好調な企業収益を背景に底堅く、堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画『NEXT FIELD 2017』の2年目として、「新たな商社機能」の強化と提供価値の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度におきましては、売上高1,037億3千6百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益50億3千7百万円(前年同期比0.6%減)、経常利益52億4千3百万円(前年同期比0.4%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、37億4百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

# を目指します。

**Q** 中期経営計画について、力を入れた取り組みをいくつかお聞かせください。

## 「商売の芽」となる情報獲得機会の増大

**A** 本年度も積極的に「機械要素技術展」等の総合展への出展を行うとともに、新たな試みとして平成29年1月に東京ビッグサイトで開催された製造業IoTの専門展「第1回スマート工場EXPO」にも出展いたしました。さらにユーザー様との接点の場として、全国各地でお取引先様との協働による展示会の開催や、ユーザー様の工場へ出向いて行う出張展示会を開催いたしました。

→くわしくは5ページをご覧ください。

## 海外展開の加速

**A** 当社子会社の「NICHIDEN VIET NAM CO.,LTD」が、平成28年10月にホーチミン市で開催されましたベトナム最大の国際展示商談会「METALEX Vietnam 2016」に出展いたしました。また平成28年11月には、ベトナム北部最大の港湾都市であり、北ベトナム第2の工業都市でもあるハイフォン市に駐在員事務所を開設し、営業活動を開始いたしました。

## 情報投資による業務効率の改善

**A** 業務の効率化を目的に取り組んでおります情報システム関連投資につきまして、平成30年1月稼働に向け現在構築中の新基幹システムとの連携も視野に、平成28年6月より会計システム・平成28年10月より人事システムをそれぞれ先行運用開始いたしました。

## 新たな商社機能の発揮と活用

**A** 平成28年8月には3年ぶりとなる総合カタログ「MEKASYS2016年版」を発刊し、運用を開始いたしました。本カタログは、紙面上で概ねの商品選定が可能となる「組込部品カタログ」と、過去に掲載できなかったメーカーを含めた約300社を代表的な商品写真とともに紹介した「プロダクトガイド」の2冊組となっており、設計や生産現場の様々な部署でご活用いただける構成となっております。

平成29年1月には、生産現場におけるIoT導入について、より具体的にご理解いただくためのツールとして、「IoT導入ガイドブック」を発刊し、説明会の開催とともに運用を開始いたしました。営業技術支援を行うFAシステム・環境推進部を中心として、このようなツールを活用した技術ソリューション、システム提案を推進し、営業技術要素を高めながらトータルソリューションを展開する「課題解決提案型ビジネス領域」の拡大を図ってまいります。

→くわしくは6ページをご覧ください。

# TOP INTERVIEW

トップインタビュー

## ■ 商売を創れる人財の育成

**A** 環境が変化  
する中で自己変革  
に挑戦し競争力を生むた  
めの人財づくりを目指し、



従来からのメニューに加え、当社独自の教育プログラム  
を組み込んだ実践的研修を行っております。

**Q**

株主優待を拡充されましたね。

**A** 第66期中間報告書でもご案内いたしました  
が、株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、当社に  
対するご理解を一層深めていただくとともに、当社株式  
への投資魅力を高めることで、より多くの方々に保有して

いただくことを目的として、平成28年8月26日開催の取  
締役会において、毎年9月30日基準日の株主優待制度  
に加え、毎年3月31日基準日の株主優待制度の新設を  
決議いたしました。

→くわしくは14ページをご覧ください。

**Q**

最後に株主の皆様への  
メッセージをお願いいたします。

**A** 第67期は中期経営計画の最終年度の目標と  
して、連結売上高1,130億円、営業利益56億円  
を設定し、引き続き中期経営計画の骨子に示してある経  
営方針を実現するために全社一丸となって課題に取り組  
む所存です。

なお、株主様への利益還元につきましては、「連結配当  
性向25%以上、1株あたりの配当金25円を下限」を配当

## POINT 『NEXT FIELD 2017』

### 「商売の芽」となる情報獲得機会の増大

#### ■ 総合展への出展(名古屋機械要素技術展 M-Tech)

「MEKASYSはモノづくりに関わる人に“よかった”を届けたい」を  
テーマに平成29年4月12日(水)~14日(金)にポートメッ  
セなごや第1展示館において開催されました「名古屋  
機械要素技術展 M-Tech」  
に出展いたしました。



#### ■ 展示会の開催(MEKASYS in NAGOYA)

「生産ラインにおける自動化 ものづくりに新しいご提案を」  
をテーマに平成29年1  
月27日(金)に名古屋国  
際会議場イベントホール  
においてメカニカル  
パーツ&システム総合展  
を開催いたしました。



方針と定め、企業価値と株主価値の持続的かつ一体的な向上を基本とした安定的な配当を行ってまいります。

第67期の1株あたりの配当金につきましては、普通配当70円を予定しております。

当社を新たな成長のステージへ導く中期経営計画『NEXT FIELD 2017』の実現・推進は、引き続き株主の皆様のご理解とご支援なしに達成することはできません。従前以上のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成29年6月



## 中期経営計画『NEXT FIELD 2017』

### ■基本方針

お取引先様にとって、  
「自社の業績向上になくってはならない企業」・日伝を目指す。  
そのために、提供価値を創造する。

戦略的パートナーとなるお取引先様に、  
日伝の考えを正しく伝え、協働して市場の開拓を進める。

### ■骨子

- 1** 一体感のある企業グループの構築  
ガバナンスの取れたグループ管理体制を構築し、シナジー効果を発揮する
- 2** 新たな商社機能の発揮と活用  
横糸（全国規模の組織力）と縦糸（地域密着の細やかな対応力）の両方をしっかり紡ぐ
- 3** 「商売の芽」となる情報獲得機会の増大  
MEKASYS展示会、出前展、セミナーなどユーザーとの多様な接点を構築する
- 4** 新たな事業を創出する機動的な投資  
強固な財務基盤をベースに新たな収益源を創出する
- 5** 海外展開の加速  
海外の国柄・地域に応じた商売の発展形を作り上げ、同時多面的にビジネスを展開する
- 6** 「流通のハブ」としての存在感向上  
在庫機能と物流機能を活かし、その運用にて利益を生み出す
- 7** 情報投資による業務効率の改善  
一人ひとりが業務の中で効率を上げ時間を創出し、「商売を創る活動」をさらに強化する
- 8** 商売を創れる人財の育成  
競争力の源泉である「人財づくり」において、圧倒的な優位性を持つことに挑戦する

## IoTが広げる“スマートな世界”への展開

生産効率が高まり、生産現場の利益率の向上が見込まれるIoTの導入は、現在設計・開発、品質管理、生産管理、需要予測など多くの場面で成果が期待され、製造現場では具体的な導入に向けた検討が始まっています。

当社では、展示会への出展や専用カタログの発刊などを通じて製造現場でのIoT導入をサポートできる体制を構築してまいります。

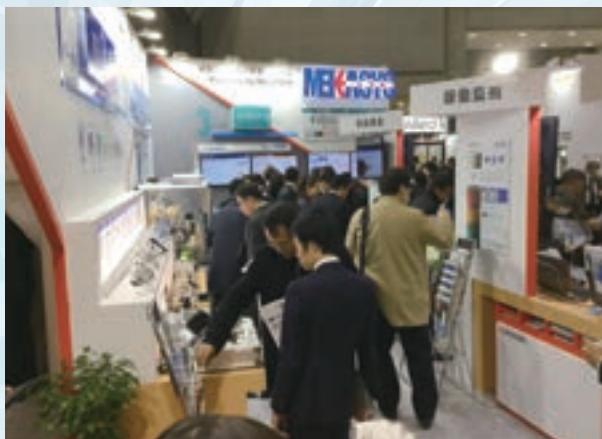
### 第1回 スマート工場 EXPO出展



「MEKASYSは、スマート工場実現に向けたIoT導入を、機器選定からシステム構築までトータルにサポート致します。」をテーマに、平成29年1月18日(水)～20日(金)に東京ビッグサイトにおいて開催されました「第1回スマート工場EXPO」に出展いたしました。

工場のスマート化を促進する技術・ソリューションが一堂に出展した同展示会は他の併設展も多数ある中、特に賑わいが目立つなど、来場したユーザーの関心の高さが伺えました。

当社の展示ブースにおいては、開場早々から見学される



来場者であふれ、ユーザーのIoT導入に対する意識の高さから過去に例を見ない盛況な展示会となりました。

当社においても、製造現場のダウンタイムゼロ、生産効率向上、更なる見える化、リードタイム短縮、省力化、コスト低減などユーザーの課題・要望にIoT導入で対応できるようなビジネスモデルを確立してまいります。

## IoT導入ガイドブック発刊



生産現場におけるIoT導入について、より具体的にご理解いただくためのツールとして、「IoT導入ガイドブック」を平成29年1月に発刊し、説明会の開催とともに運用を開始いたしました。

## 決算説明会を開催



平成29年5月23日(火)に決算説明会をLEVEL XXI(レベル 21)シルバールーム(東京都千代田区)で開催いたしました。

当社代表取締役社長 福家 利一より平成29年3月期連結決算概要と中期経営計画『**NEXT FIELD 2017**』の進捗状況についてご説明いたしました。

## 大和理研株式会社を子会社化

平成29年4月5日、大和理研株式会社の株式譲渡契約が締結され、これにより当社の100%子会社となりました。

同社の強みとする自動機器の設計製造事業を全面的に支援し、新分野または、新販路の早期立ち上げを図るため、両社のノウハウと人材を活用し、お取引先様のニーズの発掘、提供価値の向上を図り、更なる販売拡大を目指してまいります。

# SEGMENT INFORMATION

事業分野別状況

## 日伝は、日本のものづくりを支え、お客様と共に

制御機器分野

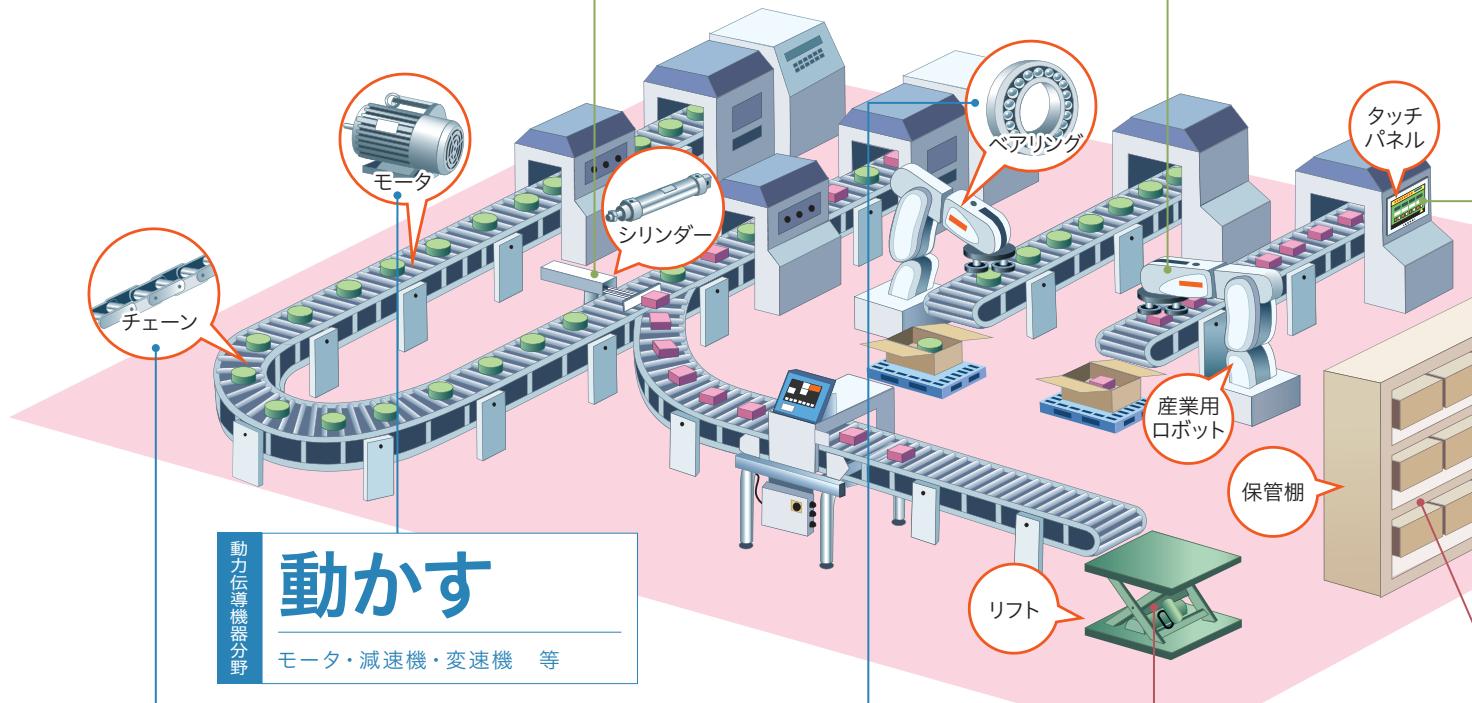
### 調整する

シリンダー・バルブ・継手 等

制御機器分野

### 作る・操る

産業用ロボット・コントローラ 等



動力伝導機器分野

### 動かす

モーター・減速機・変速機 等

動力伝導機器分野

### 伝える

チェーン・歯車・カップリング 等

動力伝導機器分野

### 回す・送る

ハンドル・ベアリング・直動案内機器 等

産業機器分野

### 運ぶ

コンベヤ・リフト・キャスター 等

## 事業分野別売上高構成比

# 未来を拓きます。

制御機器分野

## 測る

センサ・タッチパネル・計測機器 等

LED

産業機器分野

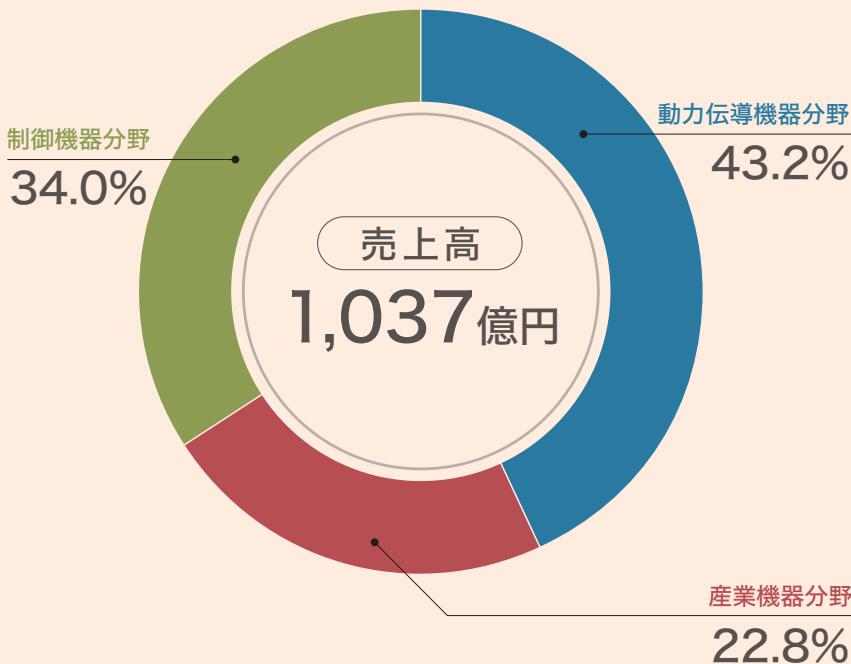
## 改善する

集塵機・ポンプ・コンプレッサ・LED 等

産業機器分野

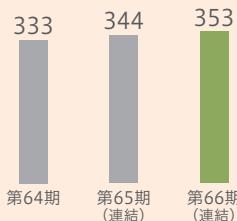
## 保管する

コンテナ・パレット・保管棚 等



### 制御機器分野

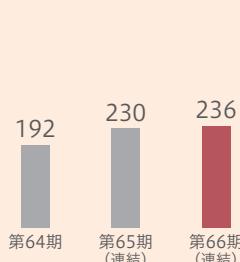
(単位:億円)



制御機器分野では、空圧機器・測定計測機器・ロボットが堅調に推移した結果、売上高353億3千2百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

### 産業機器分野

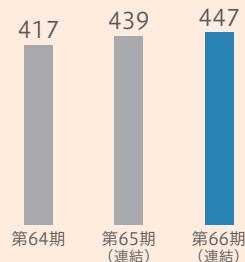
(単位:億円)



産業機器分野では、コンベヤ関連機器・送風機・コンプレッサ等が堅調に推移した結果、売上高236億1千1百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

### 動力伝導機器分野

(単位:億円)



動力伝導機器分野では、減速機・ベルト伝導用品・ベアリング等が堅調に推移した結果、売上高447億9千2百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

# CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

## 連結業績ハイライト

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第66期	第65期
	平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	65,624	60,963
固定資産 <b>POINT 1</b>	23,386	18,914
資産合計	89,011	79,878
<b>負債の部</b>		
流動負債	17,942	13,140
固定負債	3,394	3,011
負債合計	21,337	16,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本	64,493	61,809
その他の包括利益累計額	3,180	1,917
純資産合計	67,674	63,726
負債純資産合計	89,011	79,878

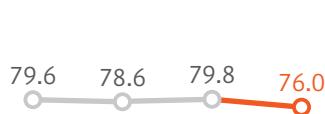
### 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第66期	第65期
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	103,736	101,508
売上原価	88,657	86,675
売上総利益	15,078	14,832
販売費及び一般管理費	10,041	9,766
営業利益	5,037	5,066
営業外収益	583	533
営業外費用	376	376
経常利益	5,243	5,222
特別利益	—	400
特別損失	0	217
税金等調整前当期純利益	5,243	5,406
法人税、住民税及び事業税	1,740	1,654
法人税等調整額	△ 201	196
当期純利益	3,704	3,555
親会社株主に帰属する当期純利益	3,704	3,555

### 自己資本比率

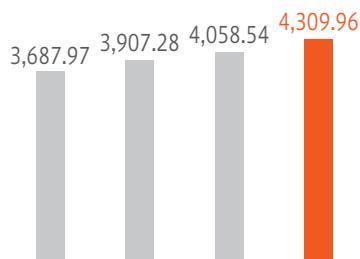
(単位:%)



第63期 第64期 第65期(連結) 第66期(連結)

### 1株当たり純資産額

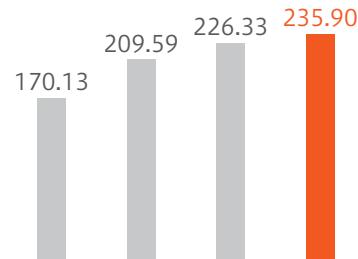
(単位:円)



第63期 第64期 第65期(連結) 第66期(連結)

### 1株当たり当期純利益

(単位:円)



第63期 第64期 第65期(連結) 第66期(連結)

※当社グループは前連結会計年度(第65期)より連結財務諸表を作成しております。第63期・第64期事業年度は単体の数値を記載しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第66期	第65期
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,451	2,263
投資活動による キャッシュ・フロー POINT 2	△10,186	△1,803
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,168	△1,132
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△34	△19
現金及び現金同等物の 増減額(△)	△7,938	△693
現金及び現金同等物の 期首残高	26,450	27,144
現金及び現金同等物の 期末残高	18,512	26,450

### POINT 1 固定資産

固定資産は、前連結会計年度末に比べ44億7千2百万円増加し、233億8千6百万円となりました。これは、投資有価証券が期末時価上昇により19億8千3百万円、社債等の購入により26億5千8百万円増加したこと等によるものであります。

### POINT 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、101億8千6百万円(前年同期において使用した資金18億3百万円)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が10億8百万円あったものの、定期預金の預入による支出が80億1千5百万円、投資有価証券の取得による支出が26億5千8百万円あったこと等によるものであります。

### 自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



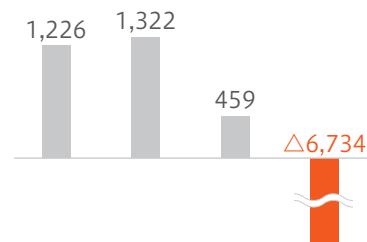
第63期 第64期 第65期(連結) 第66期(連結)

### 総資産経常利益率(ROA) (単位:%)



第63期 第64期 第65期(連結) 第66期(連結)

### フリーキャッシュ・フロー (単位:百万円)



第63期 第64期 第65期(連結) 第66期(連結)

# NICHIDEN NETWORK

NICHIDENネットワーク

国内外の拠点を繋いで、  
ものづくり支援のネットワークを構築しています。



<http://www.nichiden.com/>

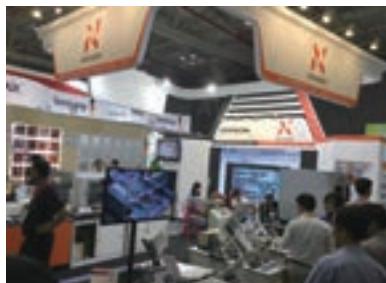
国内外の拠点情報は当社ホームページにてご覧頂けます。

## POINT 『NEXT FIELD 2017』

### 海外展開の加速

■ベトナムで展示会を開催  
当社子会社の知名度を高め、さらに業容拡大を図るため、ベトナム現地の日系企業や現地企業向けに展示会を行いました。

PROPAK VIETNAM 2017  
(平成29年3月21日~23日/ホーチミン市)



VIETNAM MANUFACTURING EXPO2017  
(平成29年4月26日~28日/ハノイ市)



## 西部ブロック

### 大阪支店

八日市営業所 東大阪営業所 福山営業所  
滋賀営業所 北大阪営業所 広島営業所  
京都営業所 堺営業所 四国営業所  
神戸営業所 九州支店  
姫路営業所 北九州営業所  
岡山営業所 熊本営業所

## 東部ブロック

### 東京支店

札幌営業所 水戸営業所 千葉営業所  
北上営業所 小山営業所 横浜営業所  
仙台営業所 高崎営業所 南関東営業所  
郡山営業所 埼玉営業所 西東京営業所  
新潟営業所 上田営業所

## 中部ブロック

### 名古屋支店

富山営業所 静岡営業所 岡崎営業所  
北陸営業所 浜松営業所 小牧営業所  
松本営業所 豊橋営業所 鈴鹿営業所

## 連結子会社

岡崎機械株式会社

## 物流センター

東部物流センター 西部物流センター  
中部物流センター

テクノセンター

# CORPORATE INFORMATION / STOCK INFORMATION

会社情報 / 株式情報

## 会社の概要

(平成29年3月31日現在)

商号	株式会社 日伝
英文社名	NICHIDEN Corporation
設立	昭和27年1月26日
本社所在地	大阪市中央区上本町西一丁目2番16号
資本金	53億6千8百万円
従業員数	752名(連結826名)
関係会社	岡崎機械株式会社 日伝国際貿易(上海)有限公司 NICHIDEN TRADING(Thailand) Co.,Ltd. NICHIDEN(Thailand) Co.,Ltd. NICHIDEN VIET NAM CO.,LTD 株式会社プロキュバイネット 大和理研株式会社(平成29年4月5日 子会社化)

## 役員

(平成29年6月23日現在)

代表取締役会長	西木 利彦
代表取締役社長	福家 利一
専務取締役	榊原 恭平 社長補佐
常務取締役	酒井 義之 中部ブロック長
常務取締役	岡本 賢一 東部ブロック長
取締役	寒川 陸志 西部ブロック長
取締役	檜垣 泰雄 管理本部長兼総務部長
取締役	佐々木 一 営業本部長兼営業推進部長
取締役	小山 章松
取締役	寺嶋 康子
常勤監査役	河村 竹佳
常勤監査役	石谷 勇児
監査役	古田 清和
監査役	川上 勝

(注) 取締役のうち、小山章松、寺嶋康子の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。監査役のうち、古田清和、川上勝の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。なお、当社は小山章松、寺嶋康子、古田清和、川上勝の各氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## 株式の状況

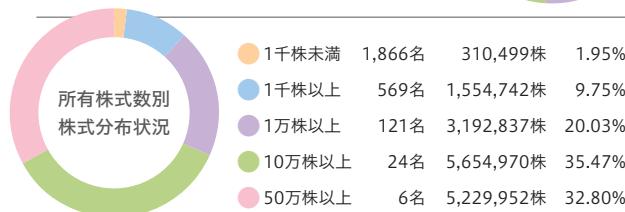
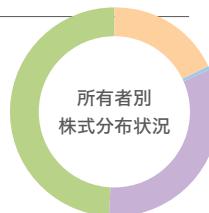
(平成29年3月31日現在)

発行可能株式の総数	63,000,000株	
発行済株式の総数	15,701,822株 (自己株式241,178株を除く。)	
株主数	2,586名	
大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
日伝共栄会	1,750	11.14
日伝仕入先持株会	978	6.23
西木 進	727	4.63
株式会社利双企画	700	4.45
株式会社みずほ銀行	550	3.50
有限会社ニシキ興産	523	3.33
日伝従業員持株会	497	3.16
株式会社百十四銀行	491	3.12
西木 利彦	419	2.66
株式会社りそな銀行	335	2.13

(注) 持株比率は自己株式(241,178株)を除いて計算しております。

## 株式分布状況

金融機関	28名	2,849,400株	17.87%
証券会社	18名	76,824株	0.48%
法人	338名	5,192,589株	32.57%
個人その他	2,202名	7,824,187株	49.08%



## 株 式 情 報

### 配 当 方 針

当社の配当方針は、平成28年5月9日の取締役会で「連結配当性向25%以上、1株あたりの配当金25円を下限とする。」と定めております。

### 配当金のご案内

当事業年度の期末配当金につきましては、普通配当1株につき65円に、設立65周年記念配当5円を加え、1株につき70円（年間）にて実施いたしました。

翌事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当70円を予定しております。

## 株主優待制度のお知らせ

基準日/毎年9月30日

100株以上  
1,000株未満

讃州育ち本切りセット  
さぬきうどん300g×3袋(9人前)  
株式会社めりけんや



1,000株以上

こだわり厳選セット  
無洗米2kg詰め3パック  
幸南食糧株式会社



贈呈時期/毎年12月

基準日/毎年3月31日

100株以上  
1,000株未満

社会貢献寄付金付QUOカード  
1,000円分

1,000株以上

3,000円分



(注) このQUOカードには、社会貢献寄付金として「緑の募金」が付いており、公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付され、集められた寄付金は、緑化推進に役立てられます。

贈呈時期/毎年6月

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日までの1年
剰余金の 配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告をすることができ ない場合は、日本経済新聞に掲載する方 法といたします。
証券コード	9902
株主優待制度	毎年9月30日および3月31日現在の株 主名簿に記載または記録された所有株 式数100株以上の株主様に対して当社 指定粗品を贈呈いたします。

### 郵送物送付先

### お問い合わせ先

### 各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)

### 未払配当金のお支払

### ご注意

### 証券会社等に 口座をお持ちの場合

お取引の証券会社  
等になります。

みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および  
全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)

支払明細発行については、  
右の「特別口座の場合」の  
郵便物送付先・お問い  
合わせ先・各種手続お  
取扱店をご利用ください。

### 証券会社等に 口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)

〒168-8507  
東京都杉並区和泉2-8-4  
みずほ信託銀行 証券代行部

フリーダイヤル  
0120-288-324  
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

みずほ証券  
本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店  
舗)でもお取扱いたします。

みずほ信託銀行  
本店および全国各支店  
\*トラストラウンジではお取扱できま  
せんのでご了承ください。

特別口座では、単元未満株式の買  
取以外の株式売買はできません。  
証券会社等に口座を開設し、株式  
の振替手続を行っていただく必要  
があります。

### 上場株式配当金の 支払いに関する 通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、「支払通知書」の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、確定申告の添付資料としてご使用ください。なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける「支払通知書」につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。



### IRに関するお問い合わせ先

当社ホームページIR関連のお問い合わせフォームより承っております。資料請求、ご質問、ご意見、ご要望などがございましたら、気軽にお問い合わせください。

日伝 IR

検索

### メカニカルパーツ&システム

# MEKASYS

<http://www.mekasys.jp>

「MEKASYS」は、株式会社日伝の  
登録商標第5354848号です。



この冊子は環境保全の  
ため、植物油インキを  
使用しています。